

# 二神系譜研究会 15年のあゆみ

豊田氏・二神氏

— 700年の時を超えて —




二神島八幡神社前にて(1999年5月30日、63名)

1. ごあいさつ
2. 二神氏の歴史
3. 二神島とその歴史的位置
4. 二神系譜研究会の沿革
5. 設立前のあゆみ
6. 設立後のあゆみ
7. 会則
8. 二神系譜研究会活動の概要
9. 役員名簿
10. 参考資料



常任理事会 湯築城資料館にて(2006年9月15日)

 1. ごあいさつ

## 15周年にあたって

二神系譜研究会は平成 12 年 3 月、二神氏の名を名乗る方々や中世伊予国・地域の歴史に関心のある方々によって設立されて、本年で創立 15 周年を迎えることができました。当研究会の活動は、二神氏の発祥・発展を経て、全国に広がってきた二神の系譜を科学的に調査・研究をするとともに、関係する他の系譜のグループとの交流を図り、情報交換を行い、ひいてはこの活動を通じて地域、地元の歴史文化の発展・向上に貢献することにより、地域の活性化への一助に資することを目的としております。

この間、長年にわたり継承されてきた「<sup>ふたがみもんじょ</sup>二神文書」をはじめ、関連史料や史跡、系譜などの調査、地元文化財についても地道に調査研究を行って参りました。

会員の皆様はもとより、関係者の方々のご支援・ご尽力に心から御礼を申し上げます。

平成 11 年の準備会が発足して以降、神奈川大学日本常民文化研究所、湯築城資料館、風早歴史文化研究会、豊田氏保存会、伊予史談会、松山市立子規記念博物館等の団体と幅広い交流・協力関係の維持に努めることができました。

今後、当協会では、これらの団体との絆を大切にしながら、一層の交流促進を図ってまいります。今後とも関係者の温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

15 周年を機会にこれまでの歩みを小冊子にまとめましたので、ご高覧頂ければ幸いです。

平成 27 年 11 月 8 日

二神系譜研究会 会長 二神俊一



## 2. 二神氏の歴史

二神氏は、長門豊田氏を祖先としています。長門豊田氏について記してみます。

- |                      |   |  |
|----------------------|---|--|
| 1069年ころ              | … | 従五位下「藤原輔長」長門大掾に任じ西下します。  |
| 1075年ころ              | … | 輔長、国司の後も京に還らず、豊田・大津両郡を開拓し豊田郷の領主となり「豊田氏」を始称します。   |
| 1110年ころ              | … | 二代目輔平、三代目輔行は「豊田郷一ノ瀬」に館を築きます。   |
| 1191年(建久2年)          | … | 七代目種弘は、阿座上に西八幡宮を創建します。   |
| 1300年代               | … | 豊田氏は、防長地方の有力豪族となります。   |
| 1333年<br>(元弘3年・正慶2年) | … | 十二代目豊田種長は2月に北条時直に従い長門探題として戦い、伊予の平井城を攻めるも敗れます(星ノ丘の戦い)。4ヶ月後、後醍醐天皇方となり探題屋敷を襲撃。※「豊田氏の歴史」から |

### 二神氏の出自

「姓氏家系大辞典」に、「伊予の二神島より起こる。南北朝のころ、二神十郎左衛門あり、予章記等に見ゆ」、また「南海治乱記」に「二神修理進あり、海賊の大將也」とあります。二神氏が二神島に移り住んだ事情について、「二神氏系図伝書略記」では、「種秀(豊田氏十四代目)始メ子無ク太郎種世ヲ養嗣トス後二神藤十郎種家生レル種秀没後種家ト種世ハ家督ヲ争イ干ニ及ブ種家敗レテ浪々ノ身トナリ伊予国二神島ニ土着シテ二神氏ヲ名乗ル」とあります。

### 二神氏の活躍

室町時代後半期に忽那島を拠点としていた忽那氏が急激に衰えたのに乗じて二神氏は海上に勢力を増し、河野氏の配下となって活動を続けました。戦国時代には、河野氏或いは村上氏の有力な武将として史上に名を知られるようになりました。

「二神氏系図伝書略記」によりますと、河野通堯が九州に逃れた折に行動を共にした二神種直は1367年(正平22年、貞治6年)に通堯が細川氏の勢力を追い払って伊予の国の権勢を回復した時に、これまでの功績を讃えられ、風早郡(現在の松山市北条)の領地を給与され、本拠を風早郡宅並城に移しました。これより二神氏は、二神島だけでなく伊予本土の風早郡に拠って活動し、後には伊予の豪族河野氏の重臣としての地位を維持するようになりました。

種直の子家直は、「二神氏系図伝書略記」によりますと、引き続き風早郡宅並城に拠って、1479年(文明11年)に阿波国の細川義春が伊予侵入を企てたとき、河野氏の命に従って忽那氏・重見氏と協力し宅並城の防備にあたりました。「予陽河野家譜」。この時の戦功によって、同年に河野教通から家直は風早郡粟井郷の安岡名・友兼名・宮崎名の地を給与されました。「二神文書」。

その後、歴代の二神氏がこれらの地を留保されているのをみますと、これらの地区は宅並城と共に、二神氏の重要な拠点になっていたことが想像されます。家直の後を継いだのは家真で、道後で河野教通のために戦い戦死した種、そして通範と続きます。

## 二神通範の活躍

通範は、始め風早郡雄甲城に拠りましたが、後に高穴城も守備しており、この時代は粟井郷だけでなく河野郷をはじめ、他の地域にも勢力を拡げていきます。それと同時に二神氏も二家か三家に分かれていたことが考えられます。

1572年(元龜3年)、阿波の三好氏が新居郡の石川氏と組んで侵入、川之江城・鷺の森・西条・恵良山城などが戦いの舞台となりました。二神通範は大野氏・土居氏・重見氏と中予の各地を転戦し、三好氏を撃退しました(「予陽河野家譜」)

1573年(天正1年)、喜多郡の大野直之は土佐の長宗我部と通じたため、通範は地蔵ヶ嶽城(現在の大洲城)を落としました。(「予陽河野家譜」)

## 河野氏の滅亡

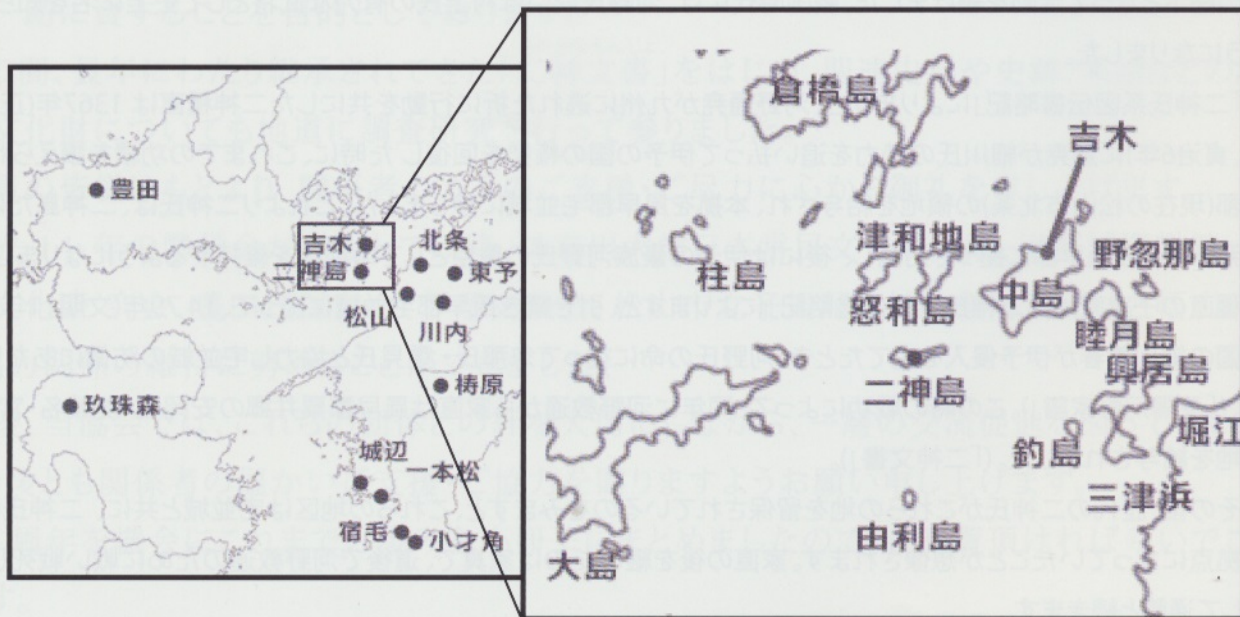
1585年(天正13年)、豊臣秀吉の命を受けた小早川隆景が河野氏追討のため伊予に兵を進めます。二神通範は、風早郡の高穴城に拠ってよく抗戦しましたが陥落します。道後の湯築城も隆景に包囲され、河野通直は降伏しました。秀吉は河野氏の所領を没収し、隆景が伊予35万石の大名に封ぜられます。

「二神家文書」によりますと、その後、河野通直は安芸国竹原に隠居して病死。その菩提を弔うために二神氏は法要を続けていたと伝えられています。その後、通範は朝鮮の役でも活躍しました。通範の長子通種、家種そして種長のいわゆる本島二神氏の系譜となります。通範の第二子種範は、北条片山に永住し、風早二神氏の祖となりました。

## 3. 二神島とその歴史的位置

### 忽那諸島

松山市沖北西部にある島々で、旧風早郡に属し、そののち温泉郡となり、現在は松山市となりました。諸島の中で一番大きな島が中島で、睦月・野忽那島・怒和島・津和地島・二神島が散在します。古い時代には山口県の柱島を入れて「忽那七島」と称された時期もあったようです。この海域を支配することは、瀬戸内海地方の制海権を掌握することにもつながっていました。



「忽那嶋開発記」によりますと藤原親朝が寛治年中(1087-94)に開発した6島のうちの1つといい、古くは「松嶋」と呼ばれていたと記載されています。

そののち、現在の山口県豊田郷から豊田(二神)種家が島に入ったとされ、水軍の根拠地としての存在が印されます。南北朝の動乱期を経て二神氏は、幕藩体制が敷かれるまでの約300年間、この近海で忽那氏・村上氏などとともに河野氏の配下として活躍しました。1585年(天正13年)に河野氏が滅亡後、藩政時代には松山藩に属し、二神氏は庄屋職を担ってきました。1700年以降、松山藩の避難港(南風が吹いた時の)として利用されたり、時折、参勤交代の船団も寄港しました。いつのころからか、松山藩の流刑地であり、多くの人たちが流されていたようです。特に、1741年(寛保元年)に起こった「久万山一揆」での責任を問われた、松山藩の奉行穂坂太郎左衛門が流されています。(「松山城史」景浦勉著) 明治時代には二神村となり、1889年(明治22年)の町村制実施により二神島・怒和島・津和地島の三島で「神和村」となりました。1959年(昭和34年)に中島町と合併し、2005年(平成17年)1月には松山市と合併して現在に至っています。



## 4. 二神系譜研究会の沿革

「二神系譜研究会とは、二神の名字を名乗る人たち及びその関係者や歴史に関心のある方々によって2000年(平成12年)に結成された系譜研究団体(平たく言えば、二神のルーツを探る会)のことです。

活動の目的は、二神氏の系譜を調査研究するとともに、他の系譜、研究組織、歴史に関心のある方々との交流を図り、会員相互の親睦を深め、更に活動を通して地域の活性化を推進することを目指しています。

二神系譜研究会が結成されるまで、二神氏のあゆみと歴史についての調査研究は、<sup>もんじょ</sup>文書を中心に伊予史談会、東京大学史料編纂所、日本常民文化研究所などで史料収集され、一部の歴史学者や研究者の間で解明作業がなされてきました。

また、一般的に「二神文書」と呼ばれた中世文書類等が二神島の「宗家二神氏」や中島の「吉木二神氏」、旧風早郡の「片山二神氏」「柳原二神氏」の系譜に残され、これらの文書類が郷土史の先覚者の方々によって調査研究されたのが二神氏研究の始まりではないかと思われま

す。これらの動きがきっかけとなり、1925年(大正14年)の東京大学史料編纂所による「本島二神文書」「吉木二神文書」、1931年(昭和6年)に「片山二神文書」が影写本として収集されました。そして、1932年(昭和7年)「伊予史談」第18巻第4号で、管菊太郎氏による論文「二神島の研究」が発表されました。

戦後、「伊予史料集成」が刊行されるようになり、その第5巻で「大山積神社関係文書」が1977年(昭和52年)に出され、その中に「二神文書」(景浦勉著)が発表されました。

一方、1954年(昭和29年)夏に水産庁の委託事業として「共同漁業権への依存度に関する調査」に選ばれた二神島に、当時、日本常民文化研究所の所員だった網野善彦氏が訪れ、「本島二神文書」に出会い、二神家から借用して帰りました。昭和40年代当初、中島町が町誌編纂の為、返却されましたが、一部が未返却となりました。昭和57年になってすべての文書が二神家に返却されました。

その後、本島二神氏の当主だった故二神司郎氏から改めて「本島二神文書」をはじめとする文書類を日本常民文化研究所へ委託の申し出があり、現在は、神奈川大学日本常民文化研究所に保管されています。

## 5. 設立前のあゆみ

### 1994年(平成6年)以前

東京、九州各地で各家譜などで調査・研究・行事などが行われる。  
(「東京二神の先祖を語る集い」、「九州二神会」)

### 1995年(平成7年)

8月 1日 二神島で「二神島シンポジウム」が開かれ、神奈川大学の網野善彦教授による「二神島の調査から見えてきたもの」と題する講演があり、二神氏も参加。



二神島シンポジウム(1995年8月1日)

9月 10日 山口県豊浦郡豊田町(現在:下関市豊田町)一ノ瀬で「豊田種長追善供養」が行われ、東京・広島・松山市から二神氏12名が出席。

[城辺二神氏]二神重成・二神和吉・飯田多佳子・二神啓輔  
[吉木二神氏]二神種弘・二神雄彦  
[片山二神氏]二神興三郎・二神慶子・二神舜子  
[畑中二神氏]二神俊一・二神浩三  
[広島西条二神氏]二神劬昭



豊田種長追善供養(1995年9月10日)

### 1996年(平成8年)

11月 二神重則氏(松山市平井町)が「湯築城を守る県民の会」のホームページを作成し、その中に「二神氏」のページを設けた。その後独立したページとした。

### 1998年(平成10年)

3月 25日 二神英臣氏の長男から「二神氏」のホームページを見て「二神氏について調査をしている二神さんが松山にいる」との連絡がある。

6月 27日 二神重則、二神英臣氏による初懇談で「二神氏の系譜を研究するための準備会起草委員会(仮称)」を作り、具体的な活動を進めていくことになる。

7月 25日 「二神氏の歴史」をはじめ、各種の史資料を作成する一方で、ホームページにも「準備会のコーナー」を設定し、全国の二神氏の名簿を作成する。

8月～12月 全国から多くの情報がホームページなどを通して寄せられる。それらに対して、史資料など送付。

1999年(平成11年)

2月14日

「二神氏の系譜を研究するための準備会」が、愛媛県北条市(現松山市)立ふるさと館で開かれ、二神氏の系譜研究が組織的に始まる。



二神会準備会総会(1999年2月14日)

3月21日

山口県豊田町一ノ瀬地区の一行17名が二神島・中島を訪問。



豊田町一ノ瀬から二神島初来訪(1999年3月21日)

5月18日

網野善彦氏と松山全日空ホテルで、会長ほか理事5名で懇談。



5月29日

「第1回二神島交流会」前夜祭。



第1回二神島交流会前日(1999年5月29日)

5月30日

「第1回二神島交流会」開催。63名参加。関口博巨氏による講演。



第1回二神島交流会(1999年5月30日)

8月4日

当会名誉会長・二神司郎氏(本島二神氏39代当主)享年91歳

9月11日

「二神氏学習交流会 in 城辺」前夜祭。



学習交流会in城辺(1999年9月11日)

9月12日

「二神氏学習交流会 in 城辺」。講演「城辺二神氏について」藤田儲三氏

11月12日

関東支部設立準備会(東京ガーデンパレス)



関東支部設立準備会(1999年11月12日)

12月5日

常民研小川村墓石群下見調査



常民研調査団(1999年12月15日)

# 6. 設立後のあゆみ

2000年(平成12年) 「二神系譜研究会速報」No. 1~5 発行

3月12日 「二神系譜研究会」発足。設立総会を北条ふるさと館で開催  
記念講演「二神氏の系譜研究について」  
福川一徳氏  
会長に二神浩三氏選出



二神会設立総会(2000年3月12日)

4月15日 「豊田種長追善供養際」神式で開催。  
二神系譜研究会として初出席  
「第1回全国水軍サミット」北条鹿島で開催(欠席)



豊田種長追善供養祭に初めて出席(2000年4月15日)

6月4日 関東支部設立総会、東京都千代田区・日本離島センターで開催



中部・関西支部設立総会(2000年6月18日)

6月18日 中部・関西支部設立総会、大阪府吹田市で開催

9月1日 会報「海の民ふたがみ」創刊号発行

9月9日 第2回二神島交流会、二神集会所で開催

11月1日 ビデオ「二神島」(紀伊国屋書店)完成

11月8日 豊後森二神氏系譜調査で玖珠町、竹田市訪問



「海の民ふたがみ」創刊号発行(2000年9月1日)

2001年(平成13年) 「二神系譜研究会速報」No. 6~8 発行

2月1日 会報「海の民ふたがみ」第2号発行

4月15日 第2回全国水軍サミット、北条鹿島で開催。二神水軍として初参加

4月22日 2001年度総会、北条ふるさと館で開催。  
記念講演「河野氏の時代と二神氏」石野弥栄氏

8月1日 研究論文「伊予二神氏と二神文書」福川一徳氏  
(四国中世史研究第六号抜刷 2001年8月刊)



第2回全国水軍サミット(2001年4月15日)



9月 9日 「学習交流会 in 豊後森」大分県玖珠町で  
開催。記念講演「豊後森二神氏の400年」  
竹野孝一郎氏



学習交流会 in 豊後森(2001年9月9日)

10月 20日 会報「海の民ふたがみ」3号発行

11月 11日 第2回中部・関西支部総会、大阪府吹田市  
サニーストンホテルで開催

2002年(平成14年) 「二神系譜研究会速報」No. 9~13 発行

4月 21日 会報「海の民ふたがみ」(豊後森特集)第4号発行

4月 28日 2002年度総会、北条ふるさと館で開催

4月 29日 第3回全国水軍サミット、北条市民会館で開催

9月 1日 第3回二神島交流会、二神集会所で中島町教育  
委員会との共催。日本常民文化研究所7年間に及  
ぶ調査 研究成果を報告



第3回二神島交流会(2002年9月1日)

11月 9~10日 「学習交流会 in 小才角」を  
高知県大月市小才角で開催



学習交流会 in 小才角(2002年11月9日)

2003年(平成15年)

「二神系譜研究会速報」No. 14~16 発行

- 4月20日 会報「海の民ふたがみ」(道後湯築城特集)第5号発行
- 5月3日 第4回全国水軍サミット、北条鹿島で開催
- 5月4日 2003年度総会、北条ふるさと館で開催
- 6月22日 第3回中部・関西支部総会、奈良市内の奈良学セミナーハウスで開催



第3回中部・関西支部総会(2003年6月22日)

2004年(平成16年)

「二神系譜研究会速報」No. 17~19 発行

- 1月1日 会報「海の民ふたがみ」(小才角二神氏特集)(小才角特集)第6号発行
- 3月14日 北方二神氏ミニ学習会、温泉郡川内町(東温市)の北方宝泉集会所で開催
- 4月18日 2004年度総会、北条ふるさと館で開催
- 5月4日 第5回全国水軍サミット、北条鹿島で開催
- 8月24日 常竹二神氏大谷家文書、過去帳、墓地など調査。伊予史談会柚山先生同行
- 12月1日 会報「海の民ふたがみ」(常竹(北条市)特集)第7号発行
- 12月23日 上ノ谷(松山市高浜)二神氏系譜、墓地、過去帳など調査



北方二神氏ミニ学習会(2004年3月14日)

2005年(平成17年)

「二神系譜研究会速報」No. 20~22 発行

- 4月9日 2005年度総会、山口県豊田町一ノ俣グランドホテルで開催
- 4月10日 豊田氏慰霊5年祭、山口県豊田町一ノ瀬で仏式にて開催



豊田氏慰霊5年祭(2005年4月10日)



2005年度総会(2005年4月9日)

- 5月 3日 第6回全国水軍サミット・北条鹿島で開催
- 6月 23日 菊間二神氏系譜、墓地・過去帳調査
- 8月 1日 会報「海の民ふたがみ」(特集 太平洋戦争と二神氏・豊田氏慰霊の五年祭)第 8 号発行
- 11月 19日 **第 4 回中部・関西支部総会、奈良市「飛火野荘」で開催**



第4回中部・関西支部総会(2005年11月19日)

**2006年(平成18年)** 「二神系譜研究会速報」No. 23~25 発行

- 4月 23日 **2006年度総会、二神島集会所で開催**
- 10月 12日 小川二神氏系譜、関係墓地・過去帳など調査
- 11月 1日 会報「海の民ふたがみ」(特集 二神氏7年の航跡)第 9 号発行



2006年度総会(2006年4月23日)

**2007年(平成19年)** 「二神系譜研究会速報」No. 26~28 発行

- 4月 29日 **2007年度総会、北条ふるさと館で開催。記念講演「文禄の役と二神氏」内田九州男氏**
- 9月 24日 船ヶ谷二神系譜、墓地・過去帳・菩提寺調査



2007年度総会、北条ふるさと館で開催(2007年4月29日)

- 10月 20日 **第 5 回中部・関西支部総会、大阪市内で開催**
- 12月 1日 会報「海の民ふたがみ」第 10 号発行



第5回中部・関西支部総会(2007年10月20日)

**2008年(平成20年)** 「二神系譜研究会速報」No. 29~32 発行

- 3月 8日 藤原半町二神氏系譜、改正原戸籍・資料等調査

5月11日 2008年度総会、松山市えひめ共済会館で開催

9月7日 神奈川大学日本常民文化研究所二神島来島、瀬戸内海地域の総合的研究(第1回)、以降5年間継続調査

11月30日 関西・中部支部会



2008年度総会 松山市えひめ共済会館にて(2008年5月11日)

12月1日 会報「海の民ふたがみ」  
(特集 湯築城資料館企画展)第11号発行



常民研 二神島来島(2008年9月7日)

2009年(平成21年) 「二神系譜研究会速報」No. 33~35 発行

5月10日 2009年度総会、北条ふるさと館で開催

10月12日 松山市平井城史跡周辺に居住する豊田氏墓地、  
関係史跡を調査

10月17日 東予二神3系譜の菩提寺・墓地・過去帳調査

12月13日 会報「海の民ふたがみ」(特集 豊田氏、大内氏)  
第12号発行



平井町豊田氏墓地関係史跡調査(2009年10月12日)

2010年(平成22年) 「二神系譜研究会速報」No. 36~39 及び臨時号発行

4月10日 豊田氏慰霊祭、山口県豊田町一ノ瀬で神式  
で開催。1010年度総会、豊田町一ノ侯  
グランドホテルで開催

4月28日 アイテムえひめで行われた、  
「松山島博覧会(しまはく)」に参加



松山島博覧会(しまはく)(2010年4月28日)



豊田氏慰霊祭、山口県豊田町一ノ瀬で(2010年4月10日)

9月 5日 二神系譜研究会創立 10 周年記念行事「ふたがみまつり」を、二神島で開催

12月 1日 会報「海の民ふたがみ」(特集 二神氏発祥の時代を探る)第 13 号発行

**2011 年 (平成 23 年)** 「二神系譜研究会速報」No. 40 発行

4月 17日 **2011 年度総会、松山市コムズで開催**

7月 15日 「事務局のうごき」No.1 発行、  
これより毎月 15 日発行とする

8月 8日 瀬戸内水軍研究の日本女子大学院生小林研究員が、  
北条法善寺を訪問し調査

8月 30日 神奈川大学日本常民文化研究所調査団二神島へ  
来島し、調査報告会を二神海の駅で開催。

10月 12日 高山二神系譜のフィールド調査開始

12月 26日 愛媛県歴史文化博物館土居学芸員ら二神島本家等の中世墓石、信仰等の調査



2011年度総会(2011年4月17日)

**2012 年 (平成 24 年)** 「二神系譜研究会速報」No. 41~42 発行

1月 25日 愛媛新聞「四季録」に「無人島由利島」の  
ことが掲載される

4月 13日 会報「海の民ふたがみ」  
(特集 創立 10 周年記念「ふたがみまつり」)第 14 号発行

4月 15日 **2012 年度総会、松山市北条ふるさと館で開催**

5月 20日 高山二神氏系譜調査の報告を実施、金村善美氏宅

11月 16日 **小川二神系譜の所有地で多数の五輪墓石等発見  
(岡ノ谷二神氏系譜)**

11月 26日 才ノ原二神系譜調査開始(才ノ原二神氏宗家)

12月 22日 福川一徳前顧問との懇談を今治市村上水軍博物館で開催



2012年度総会(2012年4月15日)



小川二神系譜の所有地で多数の五輪墓石等発見  
(2012年11月16日)

**2013年 (平成 25 年)** 「二神系譜研究会速報」No. 43~44 発行

2月 14日 神奈川大学日本常民文化研究所墓石調査団  
二神島 へ来島

- 4月14日 法善寺二神文書の写真撮影準備調査で同寺訪問
- 4月16日 会報「海の民ふたがみ」  
(特集 二神家における系図の変遷と系譜意識)  
第15号発行
- 5月19日 2013年度総会、松山市北条ふるさと館で開催
- 6月8日 二神島黒子家の資料調査



常民研法善寺訪問(2013年4月14日)

**2014年(平成26年)** 「二神系譜研究会速報」No. 45~46 発行

- 5月11日 2014年度総会、松山市北条ふるさと館で開催
- 8月24日 関西支部役員会開催
- 8月31日 会報「海の民ふたがみ」(特集 二神種章の思い)  
第16号発行
- 9月20日 「宅並二神衆墓石群」整備関係資料を会員に発送
- 12月25日 神奈川大学日本常民文化研究所田上所長等  
宅並墓石群視察



常民研田上所長等宅並墓石群視察(2014年12月25日)

**2015年(平成27年)**

- 2月12日 神奈川大学日本常民文化研究所調査団  
二神島へ 来島し二神本家資料再確認
- 2月12日 宅並二神衆墓石群の建屋建築開始
- 4月11日 豊田氏慰霊祭、山口県豊田町一ノ瀬薬師堂前で  
仏式で開催。2015年度総会、長門湯本観光  
ホテルで開催
- 7月12日 関西支部役員会



豊田氏慰霊祭、2015年総会(2015年4月11日)



関西支部役員会(2015年7月12日)

(名称及び事務局)

第1条 本会の名称は二神系譜研究会とし、事務局を当分の間事務局長宅に置きます。

(組織)

第2条 本会は二神の姓を持つ方及びその縁者並びに二神の歴史に関心のある方あるいは本会の目的に賛同する有志をもって組織します。

(目的)

第3条 本会は二神氏の発祥、発展を経て、全国に広がってきた二神の系譜を科学的に調査・研究するとともに、関係する他の研究グループとの交流を図り、また会員相互の親睦を深めることを目的とします。

(事業)

第4条 本会は前条の目的を達成するため下記の事業を実施します。

- 1 二神氏の系譜、歴史文化の調査・研究を行います。
- 2 前項の結果を踏まえて会員等を対象に学習研究会、交流会などを適宜開催します。
- 3 会報「海の民ふたがみ」及び「二神系譜研究会速報」「事務局のうごき」を発行し、ホームページ「二神系譜研究会」を掲載します。
- 4 他の氏族等の研究グループとの交流を図り、情報の交換を行います。
- 5 資料の蒐集整理及び保管を行い、会員等の閲覧に供します。
- 6 会員相互の親睦を図ります。
- 7 必要な地域に支部を置き、支部会を開催します。
- 8 その他、本会の目的達成のため必要な事業を実施します。

(役員)

第5条 本会に下記の役員を置きます。

会長	1名	副会長	1名
事務局長	1名	理事	若干名
常任理事	理事の中から数名	支部幹事	各地域ごとに2~3名
監事名	2名	顧問及び相談役	若干名

会長は会員の中から総会において推挙します。他の役員は会長がこれを委嘱し総会に報告します。

(役員の仕事)

- 第6条
- 1 会長は本会を代表し、会務を統括します。
  - 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは会長の職務を代行します。
  - 3 事務局は本会の事務を遂行するとともに会計を担当します。
  - 4 理事、常任理事は本会の会務を掌理します。
  - 5 支部幹事は支部会の会務を処理します。
  - 6 監事は本会の会計を監査します。
  - 7 顧問及び相談役は本会の事業に適宜指導・助言を行います。

(役員の仕事)

第7条 役員の仕事は2年とし、再任を妨げません。

(役員会)

- 第8条
- 1 理事会 … 年数回開催し、本会の企画運営について協議します。
  - 2 常任理事会 … 事務局周辺の地域の理事によって組織し、会長を扶けて事業の推進にあたりるとともに会報の作成を担当します。

## (総会)

第9条 本会の事業を総括するため、総会を開催します。

1 総会では、下記の事項を審議・決定します。

- (1) 年間の事業報告及び事業計画の決定
- (2) 1年間の会計報告、会計監査報告及び予算計画
- (3) 役員の改選
- (4) 会則の変更
- (5) その他会務の遂行に必要な重要事項

2 総会は原則として毎年4月に開催します。

3 その他、会長は必要に応じて臨時の総会を招集することができます。

## (会計)

第10条 1 本会の会計は、会費及び寄付金をもってあてます。

2 会費は年間一口5000円とし、一口以上納入するものとします。

3 特別な事業を行う場合は、寄付金を募集し、特別会計によって処理します。

4 会計年度は4月1日から翌年3月31日までとします。

### 【改正履歴】

1. 2000年3月12日・会則制定
2. 2009年5月10日・第7条(役員の任期)第10条2項(会費)改定
3. 2011年4月17日・第5条(役員)第6条(役員の任務)第8条(役員会)改訂
4. 2012年4月15日・第4条(事業)改定「事務局のうごき」を追加する。
5. 2015年4月11日・第5条(役員)第6条(役員の任務)改訂



## 8. 二神系譜研究会活動の概要

### (1) 史資料の収集・整理・保存・公開

会が発足するまでに東京大学史料編纂所や伊予史談会、日本常民文化研究所などで収集されてきた、二神氏と二神島関連の古文書をはじめとする様々な史料の調査、研究の結果と成果を確認してきました。さらに、幕末から明治初期に在住していた各地方の二神氏に伝わる文書や系図等の系譜史料を収集する中で、二神氏系譜の存在と確認を行ってきました。これらの成果を整理・保存しながら、会員をはじめ系譜研究組織や研究家の方々に公開していきます。


### (2) 調査・研究

15年間に及ぶ活動の歴史を踏まえ、その成果を基礎としながら、700年にわたる系譜の流れと地域的な発展を研究してきました。さらに、地方における中世・近世の歴史に二神氏が残してきた足跡の確認を、会員・役員が連携のもとに取り組んでいます。

### (3) 情報発信

これまでの研究結果や成果は、その都度会報や速報などで関係する皆様に報告をしてきました。会の発足と併せて「二神氏のホームページ」も活用しながら、系譜毎の調査結果や成果を報告してきました。





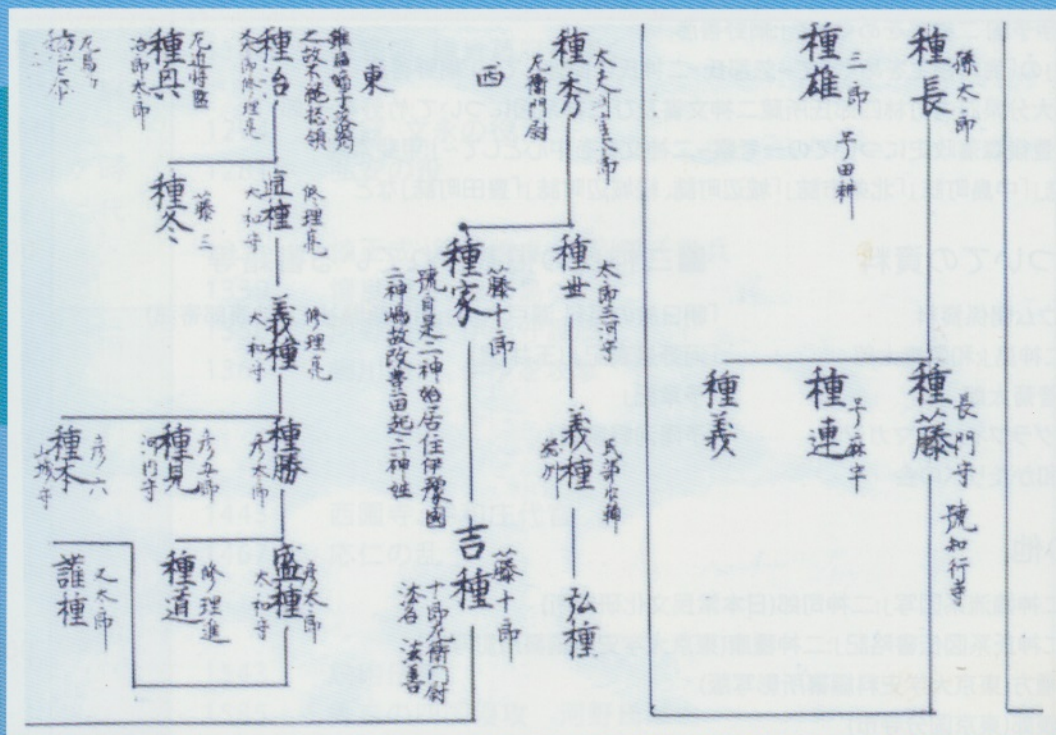
# 9. 役員名簿

2015年度(平成27年度)役員

任務職名	氏名	出身系譜	任務職名	氏名	出身系譜
会長	二神 俊一	畑中二神氏	理事	二神 宏介	松山二神氏
相談役	二神チヨリ	畑中二神氏	//	二神 久蔵	城辺二神氏
顧問	石野 弥栄		//	二神倫一郎	本島二神氏
事務局長	二神 英臣	小川二神氏	//	二神 守	道後二神氏
常任理事	二神興三郎	土居二神氏	//	二神喜久雄	三津屋二神氏
//	二神 重則	吉木二神氏	//	二神 勇	東予二神氏
//	豊田 涉	豊田氏	//	二神 種弘	吉木二神氏
//	二神 友和	小川二神氏	//	二神 政幸	小才角二神氏
//	二神千恵子	小坂二神氏	//	二神 信也	松山二神氏
//	峰岡 秀和	峰岡氏	//	二神 元信	松山二神氏
会計	二神美知子	余戸二神氏	//	二神 国廣	一本松二神氏
監事	二神 寿弘	本島二神氏	//	二神 光次	余戸二神氏
//	二神 良昌	吉木二神氏	//	二神 英輔	一本松二神氏
理事	二神 康郎	港山二神氏			

歴代会長・常任理事・理事一覧

任務職名	氏名	出身系譜	任期期間
名誉会長	二神 司郎	本島二神	1999年3月9日～1999年8月3日
初代会長	二神 浩三	畑中二神氏	当初～2010年
常任理事	二神 信助	余戸二神氏	当初～2011年
理事	二神 栄三	小才角二神氏	当初～2006年
理事	二神 末次三	畑中二神氏	当初～2006年



関東支部設立準備会(1999年11月12日)



関西支部役員会(2015年7月12日)

### 二神系譜研究会 15年のあゆみ

発行日:平成27年11月 8日  
二神系譜研究会事務局  
〒799-2469  
愛媛県松山市光洋台 7-34  
TEL&FAX:089-994-2542  
URL:<http://rootsfutagami.org>